

- ▶ 第22回モリサワ文字文化フォーラム「文字とデザインVol.7 現れるデザイン、気づくデザイン」
- ▶ 言いたい放題：目が離せない教育改革!!
- ▶ フォント あ・ら・かると：「A-OTF、G-OTF、U-OTF、AP-OTFってなに?」
モリサワのフォントファイル名について
- ▶ メンズDTP!!：「PDF&出力の手引き」の紹介
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本 文：ナウ-GM+築地-GM
- 見出し：花牡丹-DB



2018.4

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

第22回モリサワ文字文化フォーラム 「文字とデザインVol.7 現れるデザイン、気づくデザイン」

2018年2月2日、株式会社モリサワは第22回モリサワ文字文化フォーラム「文字とデザインVol.7 現れるデザイン、気づくデザイン」を開催しました。

ゲストはアートディレクターとして、またデザイン教育の現場でもご活躍中のグラフィックデザイナーの勝井三雄氏、三木健氏。お二人の長年にわたる創作活動、歴代の作品の変遷をたどり、現在に至るまでの取組み、発想法や思考法を語っていただく、約3時間の貴重なフォーラムとなりました。

第一部 考え方・作り方・伝え方・学び方 気づきに気づくデザインの発想法 — 三木 健氏 —

発明や発見の多くが偶然の幸運に出会った時の〈気づき〉であるように、「思考における道草は、一見、合理的でないように思えるがそこに発想のヒントが落ちている」と三木氏。まず、セレンディピティについて話し始める。

〈偶然の幸運に出会う能力〉と〈無知の知〉

三木氏の事務所では〈セレンディピティ=偶然の幸運に出会う能力〉を磨くためにあるルールが定められている。それは〈本箱は整理してはならない〉というルールだ。「探している本が見つからない、本の表題を追う。そのタイトルや偶然開いたページのビジュアルから刺激を受け、思いもよらないアイデアのヒントを見出すことがある。セレンディピティによって、自らの脳を鍛える。そんな偶然性に期待している」と三木氏。

ソクラテスの〈無知の知（私は知らないということを知っている）〉という言葉为背景に「デザインとは何か」を考えていく。「知ってる」とすぐに言う人は学ぶ力のない人。「知らない。知りたい」と思う人は学ぶ力のある人。「僕たちは、知覚したことで認識していると誤解している」。英語の「見る」には、seeとlookとwatchがある。seeは、なんとなく見ている状態の知覚。lookやwatchは、しっかり凝視したり、動いている姿をずっと観察する認識。洞察力を持って観察し、よく理解することを認識と呼ぶ。「理解のためには、知らない、知りたいと無垢な心で観察することが重要だ。その中にモノの本質が浮かんでくる。その認識で得た本質に、

想像の道草で出会ったセレンディピティを掛け合わせる。そこに発見や発明の手がかりがある」と三木氏。

「りんごデザイン研究所」

五年前、三木氏は大阪芸術大学で教鞭をとることになった。デザインの入り口に立ったばかりの一年生に何を教えたいののだろうか。朝食のりんごを食べていて思いついた。りんごとデザイン。好きなモノを掛け合わせると好きの二乗が生まれるのではないか。デザインを初めて学ぶ人にデザインの魅力を伝えてみよう。りんごという世界中の誰もが知っている果物を通して、デザインの楽しさや奥深さを体験してもらおう。授業そのものをデザインする〈新しい授業のカタチ〉を模索してみる。デザインは、単に〈見える化〉することじゃない。何かを〈見えてくる化〉すること。気づきに気づく。そんなデザイン哲学を学生たちと探してみよう。そこで思いついたのが『りんごデザイン研究所』という名の〈あったらいいな、こんなデザインの学校〉というビジョンを組み立てることだった。スライドで紹介される映像は、分かりやすさの設計による絵本のような表現でビジョンが可視化されている。着眼大局、着手小局の思想によるデザイン哲学がワークショップを通して学べる仕組みになっている。

世界が目目するデザインの授業「APPLE」

りんごを題材として「デザインとは何か」と問いかける『APPLE』は、観察を通してりんごを「いかに知らなかったか」と気づくプログラムや、自分の求めるものがなければ「つくり方をデザインすればよい」と気づくプログラムなど、〈気づきに気づく〉がコンセプト。実習を通して〈理解→観察→想像→分解→編集

→可視化〉のプロセスを体験する。テーマを正確に〈理解〉する。既存観念や偏見に捉われ、物事の理由や原因や意味を正しく知らない人が多い。何となくは知っているが、よくは知らない。知らないことを自覚していない。そこで対象をしっかり〈観察〉する。源を見つめ、関係性を探り、真実を積み上げていく。続いてその情報をもとに目的に応じて立体的に思考を組み立てる。それが仮説を立てるといふ〈想像〉の行為。そこでは対象と目的を結び内容に必然性が求められる。必然性がなければ〈分解〉し再構築をする。そして〈編集〉。独自の視点からコンセプトを導き、明解なコンテンツを立て活動の方針を物語化していく。最後に〈可視化〉。理念を分かりやすく見える化することをデザインという。この『APPLE』は、英・中・日の多国語で出版されている。また、大阪芸術大学の図書館内にAPPLEの常設展示と教室をあわせ持つ『りんごデザイン研究所』が開設される。〈あったらいいな、こんなデザインの学校〉というビジョンから実際に可視化されるのだ。



▲三木 健氏

第二部 私のデザインの始まりは何か — 勝井 三雄氏 —

「私は1931年、東京日本橋本石町4丁目で生まれました」と、自身のデザインの始まりを探る。

31歳のとき建築家・村野藤吾氏にデザインを頼

まれた作品集『村野藤吾1931-1963』。その第一作目に登場した『森五ビル』は、図らずも1931年に竣工したものであった。勝井氏は「隅田川の花火はこの屋上から見上げ、戦火の中、焼け残ったこのビルに避難したこともあった」思い深いビルであることに驚いたと話す。また、エンパイア・ステート・ビルディングの竣工も1931年であり、象徴的な近代建築が勝井氏の誕生と同じ年に建てられたことに不思議な因縁を感じる、と講演は始まった。

デザイナーになる原点を見出した〈粋〉

18歳の頃に制作した、出世作のポスター『ニューヨークの人々』を紹介する勝井氏。この頃に出会った、九鬼周造氏の『「いき」の構造』の中に描かれていた六面体の図が「まさしく〈粋〉のダイアグラムだと感じ、非常に惹かれた」と語る。また、200年前に出版された『江戸買物獨案内』に江戸の生活のありようを見たとき、内なるものが呼応したと勝井氏。〈粋〉は自身のアイデンティティの中にある。「僕がデザイナーになる原点をここに見出した」と語った。もう一つの重要なダイアグラムは、梅棹忠夫氏の『文明の生態史観』中、西洋と東洋の間に〈中洋〉という世界が示されているユーラシア大陸の模式図。

このような抽象的なものをカタチにすることが、まさしくデザインではないかと勝井氏は述べる。

日本初の世界デザイン会議とビジュアルデザイン

1960年、東京で「今世紀の全体像 デザイナーは未来社会に何を寄与しうるか」をテーマに開催された世界デザイン会議で、「社会に責任をもつ役割としてのビジュアルコミュニケーション」を提唱するヘルベルト・パイヤー氏の講演が非常に印象深かったという。

勝井氏はこの後、マンセル・カラー・システムをもとにした『DICカラーガイド』を制作、講談社の百科事典に取組んだ。「読む百科から見る百科に。視覚要素の強い伝達性のあるものに」と、ビジュアルコミュニケーションを実践した初めての『現代世界百科大辞典』となった。

次々に起こる出来事とDTPの到来

1989年にAppleのコンピュータ『Macintosh II』、プリンタ『LaserWriter II NTX-J』がようやく日本語対応し、日本でDTPが立ち上がるまでの、自身に影響を与えてきた歴史を振り返る勝井氏。米ソ対立による空白の28年間、ベルリン封鎖時だったからこそ飛べた〈アンカレッジ経由の北極圏〉。そこで見た、不思議で美しい世界が強烈に目に焼き付いているという。「変化する数秒、数分の非常に豊かな光のバリエーションは、言葉にしようもない美しさ。オーロラの真っ只中を通過する時、墨絵のような世界に音もなく滑り込んでいくような非常に不思議な体験。これは僕の創造の泉の中に脈々と生きてきた」と語る勝井氏に、光と影

を主題とした色鮮やかな作品が目につく。

「1960年代から、科学の発達、社会現象と文化のはざまでの多様な共生の中でデザインも生まれ、成長を遂げてきた。常に縦軸を、ルーツを意識し、デザインとの因果関係を重視してきた」という勝井氏は、大型コンピュータによる試作を重ねる過程でPCと出会い、発見した『デジタルテキストチャー』という作品を紹介。上着を脱ぎ、『デジタルテキストチャー』と三宅一生氏のアパレルブランド「プリーツ・プリーズ」とのコラボレーションのカラフルなベストを披露した。

さらに、昨年偶然出会ったという日本文学者のドナルド・キーン氏を紹介。キーン氏は、18歳の頃、『源氏物語』の虜となった。彼の著作『日本人の美意識』と、2014年の展覧会で、勝井氏が日本の美意識をテーマに制作したポスター『FUJI-RAINBOW』を紹介。そして、今年のモリサワカレンダーに取り上げられた『源氏物語』について解説した。勝井氏は「今回、『源氏物語』をモリサワカレンダーにすることで、日本の美意識とともに、ひらがなの感情表現によって作られた日本の文学作品が世界初の長編小説として、現在も継承されていることに、改めて強い感銘を受けた」と語った。



▲勝井 三雄氏

特別対談 「縦組み、横組み」思考 — 勝井 三雄氏 × 三木 健氏 —

まず、モリサワのPR誌『たて組ヨコ組』発祥について、勝井氏が発刊にあたっての当時のモリサワ代表取締役社長・森澤嘉昭の言葉と数冊を紹介。

勝井氏：1950年代に活版印刷が全盛期を迎え、1960年代の出版界の主力はオフセット印刷となりました。日本では活版活字に代わる写真植字機が戦後すぐに出現し、1980年にデジタル・レイアウト・スキャナー『レスポンス300』が導入されたことをきっかけに、それまで化学的に処理されていた印刷の製版技術はデジタル時代へと変化します。

1980年代は印刷表現の革命の時代でした。その時代の初めに企画され、1982年、田中一光氏と創刊した『たて組ヨコ組』は、変化の時代の中で57巻にわたって発行されたのです。時代に対応するPR誌を一企業が発表したのです。今回の対談タイトル「『縦組み、横組み』思考」は、これに由縁しています。

三木氏：若い頃すごく楽しみにしていて、強い

影響を受けました。『たて組ヨコ組』は、表から読んでいくと縦組み、裏から読んでいくと横組みになっていて、中央でちょうど重なっていく。いま読んで決めて古くなく、その時代の証言になっているすばらしい本。このまま1冊の本にまとめて欲しい、永続的に続いて欲しいと期待を込めて、いま拝見していました。

勝井氏：森澤嘉昭さんの「コミュニケーションの道具であると同時に、時代を語り、私たちの感性を刺激する文字の世界をより豊かに」という言葉のとおり、そのときどきのニーズに応えバラエティに富んだ内容で、我々にとっても貴重な体験だったと感謝しています。

[1955年の山城隆一氏による作品『森・林』、2017年の植原亮輔氏・渡邊良重氏による展覧会「KIGI WORK & FREE」での渡邊氏の展示作品『ダイヤモンド』を紹介]

勝井氏：山城さんの歴史的な作品『森・林』は、当時の写植や重ね刷りの技法で制作された文字だけによる風景画とも言えます。一方、渡邊さんの『ダイヤモンド』は、寺山修司の詩にインスピレーションを受け、文字のイメージをイラストで表現したものです。この2作品から、文字自体の表現が多様な変化を遂げていることがわかりますね。

[第一部で触れた「APPLE」と「日常の仕事との関係性」について解説する三木氏。事務所の緯度と経度が世界地図に記されているカードを見せる。]

三木氏：小さなカードだが、これと3つの言葉〈here, there, nice to meet you.〉さえあれば大好きな人にサインがもらえる。視点は世界に向いているが、実践するのは小さなところから。この「着眼大局、着手小局」という考え方、自分が「知らない」ということを知ることが大事である、というのが僕の仕事の軸であり、学生にAPPLEを通して伝えたいことです。

[勝井氏は1998年に卒業した教え子の漢字のルーツを表意文字の象形文字でデザインしたポスターを解説]

勝井氏：このポスターでは、当時の人々をとりまく世界を象形文字によって表現することで、その時代の人々の考える世界像を感じることができる。デザインによって世界像を視覚化している。

時代や時間の流れが縦軸。あらゆるものが縦軸に存在し、横軸が現在の問題をはらんでいると捉えることができる。今日、対話している僕たちは四半世紀も離れた年齢の差から視点はずれるが、その違いが一種の刺激になっていて、過去のものや現代のもの、未来のものを共有できる。その背景にあるのは〈縦軸と横軸〉の思考だと、これが大事な視点だと常に感じています。今日、この文字文化フォーラムを二人でやるのは面白かった。僕は三木さんを非常に大切にしていますので今後ともよろしくお願ひします。

と、大きな拍手のなか約3時間の講演は終わった。



目が離せない教育改革!!

2020年から始まる教育改革もいよいよ目前に迫って来た感があります。すでに幼稚園では2018年度から新しい学習指導要領が適応され、順次、小学生・中学生・高校生へとその過程が進んでいきます。大学を含めると16年間におよぶ学校教育が大きく変わろうとしています。

どに組込まれるプログラミング教育を含め、授業時間は3年生から各学年で35単位（1単位時間は45分）増えることとなります。

中学は、「生徒一人一人の興味や関心に応じた学びを深め、自らのキャリア形成の方向性を見いだす」ことが重要な役割とされています。

教育の充実」「外国語教育の充実」などが改善事項として掲げられ、英語4技能（読む・聞く・話す・書く）の習得とともに2020年に始まる「大学入学共通テスト」への取組みも求められます。

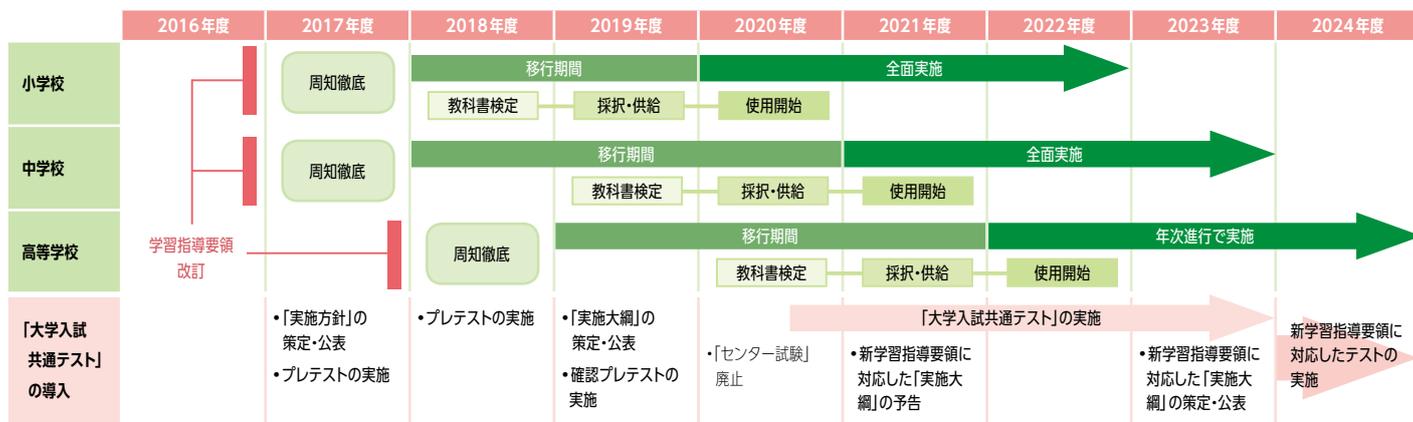
今後は、カリキュラム・マネジメントやコーチングが重要となり、加えてデジタル教材の充実やAIによる学習履歴の分析・活用が、「未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む」教育を効果的に支えていくことでしょう。

義務教育課程

小学3年生から始まる外国語教育の早期化・教科化、さらに理科・算数・音楽・図画工作な

高等学校課程

高等学校教育では、「言語能力の確実な育成」「理数教育の充実」「伝統や文化に関する



永 フォント あら・かると

「A-OTF, G-OTF, U-OTF, AP-OTF ってなに?」 モリサワのフォントファイル名について

▶ モリサワのフォントファイル名の頭につく「A-OTF」や「G-OTF」などに疑問を感じたことはありませんか?

今月のあらかるとでは、その謎をお解します。

モリサワのOpenTypeフォントの多くは「A-OTF」から始まります。モリサワのフォントだと分かるように、他社フォントとの区別のためフォントファイル名の頭につけられ、書風や用途に関係なく、「新ゴ」も「リウミン」も「解ミン」も「すずむし」も、フォントファイル名の頭にA-OTFが付きます。

2014年からは文字詰め機能を搭載した「AP-OTF」という種類のフォントが登場しました。「P」はペアカーニングを意味しており、和文・欧文のペアカーニングに加え、N仕様の字種を新たに搭載しています。2014年以降の新書体はすべて「AP-OTF」で制作されており、従来のフォントも毎年AP-OTFにリニューアルして新たにリリースしています。字形や文字セット（N仕様対応以外）

の変更はありません。また、N仕様とは、JIS X 0213: 2004（通称JIS2004）で定められた字形を採用するフォント仕様の通称で、フォント名に付記される文字セット名に「N」がつくことからこのように呼ばれます。

モリサワの書体には利用する分野に特化したフォントがあります。「G-OTF」から始まるフォントは、文部科学省の学習指導要領にある代表的な字形に準拠した「学参書体」を表します。ハネ、押さえ、トメなどが共通のデザインになっているため、教科書や絵本など子ども向け出版物に適しています。

「U-OTF」から始まるものは、一般社団法人共同通信社が記事配信のために定めた独自の文字コード「U-PRESS」を採用した新聞組版専用のフォントです。印刷業界で広く使用されているAdobe-Japan1の文字コードとは異なる独自の文字セットや字形の変換テーブルを採用することで、より新聞に特化した組版が可能となります。「新

ゴ」や「リウミン」、「ゴシックMB101」、「新丸ゴ」などの書体は、従来のA-OTFに加えG-OTF（学参）とU-OTF（新聞）両方に対応しています。

フォントファイル名の謎が解けた今、デザインだけでなく、利用分野やお望みの組版にあったフォントを使い分けてみてはいかがでしょうか?

AP-OTF : A1 ゴシック

すし → すし
詰め情報を使用しない ペアカーニング情報を参照

G-OTF

おき衣 → おき衣
A-OTF リウミン G-OTF 常改リウミン

U-OTF ※U-OTFでは右に自動変換されます

CID:1481 CID:1383 CID:7652 CID:7965

葛牙 → 葛牙
A-OTF 新ゴ U-OTF 新ゴ

イケテル&ルーキーの メンズDTP!!

イケメンの「イケテル先輩」と
勘違い系新人「ルーキー君」のドタバタ制作室

今回のテーマは——「PDF&出力の手引き」の紹介

イケテル：ルーキー！ これ、営業部に置いてきてくれないか？

ルーキー：はいっす！ ん、何すかこれ。「PDF&出力の手引き」？

イケテル：お前まさかこの冊子知らないのか!? Adobeが出している、出力関連のことを中心にまとめられた公式の資料だ。以前の研修でちゃんと確認しておけて説明しただろう!?

ルーキー：す、すみません！ いやー、でも今のところ出力でそんな大きなトラブル起きてないですし……。

イケテル：あのお、トラブルが起きてからじゃ遅いんだ。冊子の概要を簡単に教えてやるから、それをそのまま今年の新人営業さんたちに説明してこい。



ルーキー：は、はいい！

■ PDF&出力の手引きについて

イケテル：去年の10月にリリースされた Creative Cloud の新バージョンに合わせて、この手引きも2018年版が出ているんだ(図①参照)。CCでの最新環境において正しく出力できることを目的に、データの作成から出力までの推奨フローを解説している。

ルーキー：へえー！

イケテル：まず出力のためのデータ管理として、「アートボード」「フォント」「画像」「カラーマネジメント」、次に安全に出力するための最終確認として「プリフライト」「パッケージ」「プレビュー」、最後に「データ書き出し」「プリント」の機能について、確認すべきポイントをまとめてくれているぞ。



ルーキー：知ってるようで知らないことがたくさんありそうっす。

イケテル：基本的なことは昔から変わらないんだが、Adobeのソフトは

年々進化しているから、新機能を利用してより安全かつ効率的に作る事ができたり、逆に新機能ならではの注意点があたりりする。毎年の改定でそういう点が追加されているぞ。

ルーキー：新機能ってなかなか把握できないんっすよねー。

イケテル：どれも基本的で難しいことじゃない。たとえば CC では Typekit でフォントを同期して使うことができるが、使えるのは当然サブスクリプションが有効な期限内だけだし、同期したフォントはパッケージ機能では収集されない。

ルーキー：そりゃそうっすよね。んー、でも知らないとうっかり他のPCからフォントをコピーしてくる人がいるのかも。



イケテル：そうそう。改めて確認することが大事だぞ。他にも出力や入稿前の最終確認として「プリフライト」でデータに各種エラーがないか、「分版プレビュー」で必要ない特色版がないか、「オーバープリントプレビュー」で白のオーバープリントがないかなどを確認する方法が解説されている。「データ書き出し」のページでは各種PDF設定についても詳しく載っているぞ。

ルーキー：うーん確認事項がいっぱいすね！

イケテル：万が一印刷事故になったら大変だからなあ。ちなみにこの冊子が紹介されているページには、他にもDTP関係の重要な資料が紹介されているから、あわせて見ておくといいぞ！



① PDF&出力の手引き
<https://blogs.adobe.com/creativestation/dtp-printguide-2018>

イベント情報

「文字組版の教室」 (大阪開催)

開催日時：2018年4月24日(火) 10:00~17:00 会場：株式会社モリスワ 本社 4F・セミナールーム
主催：株式会社モリスワ 協賛：日本エディタースクール
内容：文字や書体の特性、組版における考え方の基礎、そして現代においては欠かせないデジタルフォントに関わる基本的な知識を学んでいただける1日セミナーを、主に文字組版の基礎知識を見直したい方や、未経験者から入社3年程度の実務経験者を対象として開催いたします。

JP2018・ICTと印刷展

開催日時：2018年4月18日(水)・19日(木) 会場：マイドームおおさか
主催：JP産業展協会 テーマ：「オンデマンドの時代」企業再生に活かす自動化の形

Japan IT Week 春

開催日時：2018年5月9日(水)~11日(金)
会場：東京ビッグサイト 主催：リード エグジビション ジャパン株式会社
出展内容：〈第21回 組込みシステム開発技術展〉
ユニバーサルデザイン書体／4K・8K放送向けTVフォント(ARIB対応)／中国政府認証フォント
〈第6回 通販ソリューション展【春】〉
MCCatalog+ Advanced Plan / MORISAWA BIZ+

編集後記

桜の季節がやって来ました。今年は寒暖の差が激しく、各地の開花も例年よりも早まっているようですが、みなさまの地域ではいかがでしょう。ビジネスも同様に「便利と不便」や「繁忙期と閑散期」の差が大きければ、技術の進化も早まるかもしれません。不便を感じる時、また暇な時には繁忙期の解消策など考えてみませんか。AIの進展が仕事を変える・奪うと言われるそうですが、電車の運転手は不要になっても車掌は残るとも言われます。しつかり仕事と役割を考えると、時が来るとも言われます。

✉ E-Mail: m-news@morisawa.co.jp

発行：株式会社モリスワ 企画・編集：プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリスワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリスワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-6-25 Tel:06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-27 Tel:03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺 1-3-8 Tel:022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-5-10 Tel:052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西 2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-3-25 Tel:092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町 11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255